

稲毛区防災公開講座「コミュニティ・タイムラインで命を守る」 ～タイムライン防災の提唱者から学ぶ、最近の災害教訓と命の守り方～

稲毛区では、災害時に住民の皆様が安全に避難できるよう、「いつ・誰が・何をするか」を事前にルール化する「コミュニティ・タイムライン（防災行動計画）」の重要性を学ぶ防災公開講座「コミュニティ・タイムラインで命を守る」を開催しますので、お知らせします。

1 趣旨

東日本大震災の被災者に対し国が実施した避難行動の調査で、揺れが収まった後、速やかに避難行動がとれた人の割合は6割弱で、4割を超える方がすぐに避難しなかったことがわかっています。

また、令和6年元旦に発生した能登半島地震では、約8割の人が車で避難して主要な道路で渋滞が発生したほか、避難所の鍵を持つ担当者の到着の遅れや、備蓄品の不足などの課題が指摘されています。

これらの事例を踏まえて、稲毛区では、災害時に住民の皆様が安全に避難できるよう、本講座を通し、住民の防災意識の向上を図ります。

2 講師

松尾 一郎 氏（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 客員教授）

3 日時

令和7年1月12日（日）14：00～16：00（予定）

4 会場

穴川コミュニティセンター1階 多目的室
（稲毛区穴川4-12-3）

5 対象者・定員

市内在住・在勤・在学の方 180人



松尾 一郎 氏

6 参加方法

当日、会場にて申し込み（先着30人） ※事前申し込みは終了しています。

7 取材申し込み

1月10日（金）17：00までに稲毛区地域づくり支援課（電話284-6176）へご連絡ください。

＜参考＞講師プロフィール

松尾 一郎 氏（東京大学大学院情報学環総合防災情報センター 客員教授）

専門分野 防災行動学、コミュニティ防災、防災まちづくり研究

○主な災害調査研究

- ・地震津波、水害、火山噴火など、さまざまな自然災害から国民を守る取り組みを研究。
- ・タイムライン防災については、10年前にわが国に導入した第一人者として国内外での普及啓発に尽力している。

○主な社会貢献

- ・東京都板橋区、足立区 総合防災アドバイザー
- ・水害時報道リスクコミュニケーション懇談会座長（国土交通省）
- ・球磨川水害タイムライン検討会座長（八代市、球磨村、人吉市）
- ・避難所避難生活学会理事 等

○主な著書

- ・「津波から人びとを救った稲むらの火 歴史マンガ浜口梧陵伝」（共著、文溪堂、2005年）
- ・「地球温暖化図鑑」（共著、文溪堂、2010年）
- ・「タイムライン 日本の防災対策が変わる」（編著、日刊建設工業新聞社、2016年）
- ・「風水害と防災の事典」（編集委員長、丸善出版、2021年） 等